

東京大学史料編纂所 共同利用・共同研究拠点

一般共同研究「東京大学史料編纂所所蔵山科家旧蔵史料の調査研究」による公開研究会

東京大学史料編纂所では、2010年度より「日本史史料の研究資源化に関する研究拠点」の事業として、所内外の研究者による「共同利用・共同研究」の活動を開始しました。一般共同研究課題に採択された「東京大学史料編纂所所蔵山科家旧蔵史料の調査研究」（研究代表者・宇佐見隆之）では、昨年度末に研究会を開催することを予定していましたが、折悪しく東日本大震災の発生によって中止のやむなきに至りました。このたびようやく下記の要領にて研究会を開催できることになりましたので、ご関心をお持ちの方は、ぜひともご参加ください。山科家旧蔵史料に関する、あるいは山科家旧蔵史料を主たる素材にもちい、室町時代を主対象とする報告3本を用意しています。

日時：2011年9月7日（水） 14:00～17:00

場所：東京大学史料編纂所・大会議室

（史料編纂所入り口の向かい、UTカフェの地下一階）

http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_14_03_j.html

報告：（いずれも仮題）

末柄 豊（東京大学史料編纂所）

「東京大学史料編纂所所蔵山科家旧蔵史料拾遺」

宇佐見隆之（滋賀大学）

「近江の関所について」

河内 将芳（奈良大学）

『言継卿記』にみえる町共同体の記載をめぐって

—「まち」か「ちょう」か、あるいは「チャウ」か—

※人数把握のため、参加ご予約の方はメールフォームよりご一報ください。

<https://www.hi.u-tokyo.ac.jp/footer/seminar-entry.html>